令和5年度　第53回九州中学校バスケットボール競技大会

個人データ表

男子　　令和5年8月8日　　15:20 開始
1回戦　　会場： 益城町総合体育館　　Ｃコート　　第２試合
主審： 野田宏樹　　副審： 津留賢人　大津　廉

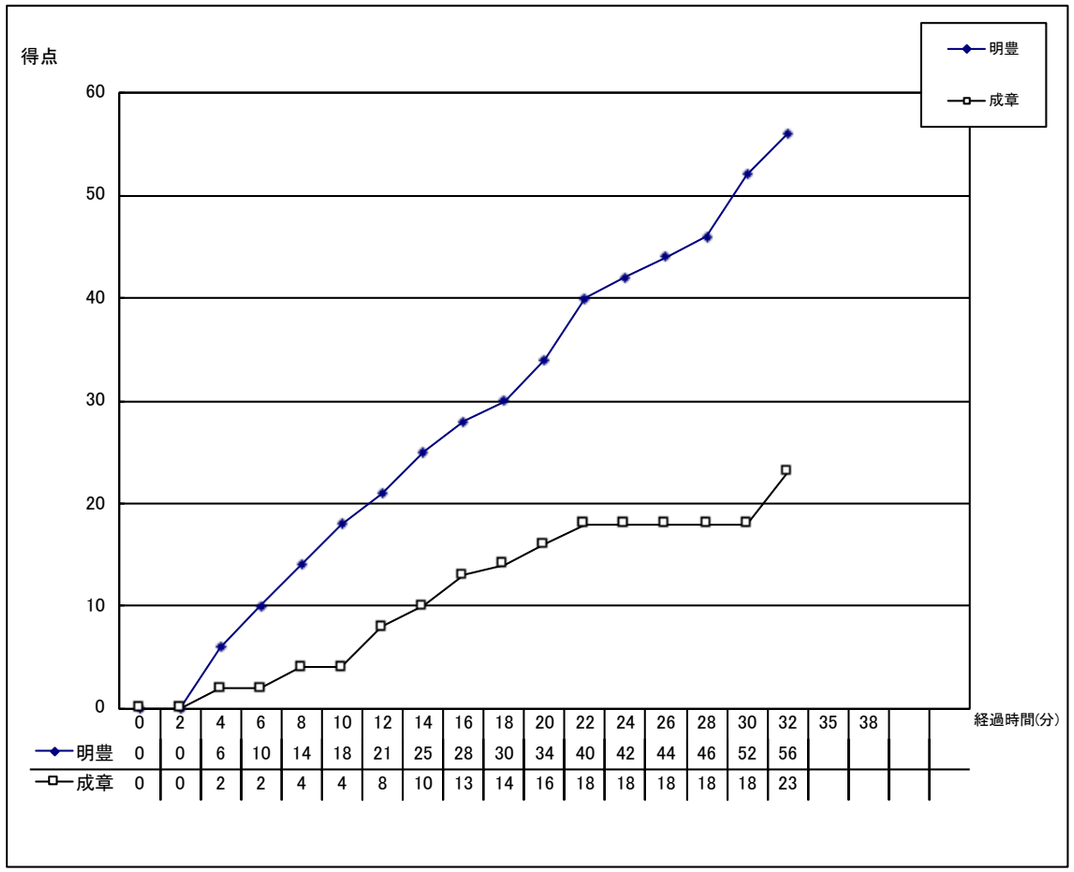
☆ 明豊 大分	56	14	１Ｑ	4	23 成章 佐賀
		14	２Ｑ	9	
		14	３Ｑ	5	
		14	４Ｑ	5	

明豊

番号		氏名	得点	3P	3P試投	2P	2P試投	FT	FT試投	反則	DF.RE	OF.RE	RE計
	0	板井　迦穏			1								
	1	植山　結斗	9	1	2	3	5			3	2		2
○	2	石田　慶二郎	4		3	2	7			2		1	1
	6	工藤　文也	2			1	1			1			
○	15	小橋　時空	2			1	1						
	21	上村　綺世斗								2			
○	22	福田　源輝	6		1	3	3			4	3		3
○	33	松下　凌大	12		1	6	11		1	2	4		4
○	36	小田　昂明	21			10	13	1	1	2	14	2	16
	37	安達　皇太					1			1			
コーチ		石田　剛											
合　計			56	1	8	26	42	1	2	17	23	3	26
成 功 率				12.5%		61.9%		50.0%					

成章

番号		氏名	得点	3P	3P試投	2P	2P試投	FT	FT試投	反則	DF.RE	OF.RE	RE計
○	4	森田　悠真	2		1	1	1						
	5	飯田　陸功											
	6	香月　梨玖							2			1	1
	7	田中　映多											
○	8	野田　祐仁	3	1	4		1		2	1	1	1	2
	9	青木　大河	3	1	1		1						
	10	岡崎　遼馬											
○	11	江田　凌磨			4		3			1	4	1	5
○	12	伊東　邑訊	2			1	5		2	1	5		5
	13	田中　宏侑											
	14	犬塚　眞輔			1								
	15	野田　翔哉											
	16	小副川　誠斗											
○	17	江口　翔大	13			5	10	3	9	1	3	1	4
	18	真井　太朗											
コーチ		溝上　郁夫											
合　計			23	2	11	7	21	3	15	4	13	4	17
成 功 率				18.2%		33.3%		20.0%					



経過時間(分)	0	2	4	6	8	10	12	14	16	18	20	22	24	26	28	30	32	35	38
明豊	0	0	6	10	14	18	21	25	28	30	34	40	42	44	46	52	56		
成章	0	0	2	2	4	4	8	10	13	14	16	18	18	18	18	18	23		

≪戦評≫

１Ｑ：両チームともにハーフコートのディフェンスから入る。両チームの守りが固く得点が入らない。最初の得点は明豊＃33がゴール下のシュート、＃36＃22の1対1で得点を重ねる。成章は＃17を中心に攻めるが得点が入らない。明豊＃15の速攻で点差が8点差になったところで、成章が残り2分39秒、1回目のタイムアウト。成章＃17がゴール下で得点し追い上げを図り、そこで、明豊の残り1分35秒1回目のタイムアウト。明豊は、＃33がローポストでもらい加点。最後に、明豊の＃1がカットからの速攻で得点を決め、1Qは明豊14-4成章で明豊がリード。
２Ｑ：明豊＃36がポストプレーで得点。成章は、＃4や＃11が1対1を仕掛けるが得点が入らない。残り6分19秒で、明豊前半2回目のタイムアウト後、＃36がゴール下で得点。一方成章の＃17がフリースローを2本決め、得点を縮める。明豊は＃36がカウントワンスローを決め得点。成章は＃12がゴール下、＃17が1対1で得点するが、明豊＃22、＃33がゴール下などで突き放し、点差が15点に広がる。たまらず成章前半2回目のタイムアウト。成章＃8が3Pを決める。成章＃8がフリースローを得るが得点できず流れができない。明豊＃1がブザービーターの3Pを決め、明豊がリードを広げ、明豊28-13成章で前半終了。
３Ｑ：成章は＃17の1対1でフリースロを一もらい得点を縮める。すぐに明豊＃33がミドルシュートを決め、主導権を渡さない。両チーム外からのシュートやドライブで得点を狙うが決まらない。成章はオールコートマンツーマンをしかける。成章＃17の速攻で得点。成章の硬い守りで24秒を取られた明豊が後半1回目のタイムアウト。明豊＃1や成章＃4の得点で、一進一退の攻防が続くが、明豊＃22、＃2の連続得点で40-18に。成章はダブルチームでさらにデフェンスの強度を強めるが点差は縮まらず明豊42-18成章で終了。
４Ｑ：成章が自らのターンオーバーでチャンスを生かせず、逆に明豊が速攻で得点。成章は、ダブルチームで圧力をかける。両チームチャンスを生かせず得点が止まるが、明豊＃2のミドルシュート、＃36のリバウンドからの得点が決まる。成章は＃17の速攻で返す。明豊残り1分45秒でタイムアウト。成章の＃9が3Pを決めるが、明豊56-23成章で試合終了。全員でディフェンスを頑張る成章と、それに負けずに得点を重ねた明豊のナイスゲームであった。両チームの健闘を称えたい。

戦評記入者　荒木　鉄成（南阿蘇村立南阿蘇中学校）